

有名無名

“けやきのブログⅡ” 2015年度分を『明治大正人物列伝52』と題して書籍化した所、読んだ人に次の事を聞かれた。

Q なぜ、福島・宮城・岩手県が多い？

それは、2011年の東日本大震災原発事故後、せめてもの応援の気持ちで書いていたから。そして、地域を限っても立派な人物がおり、その人々が地域を超え広く活躍していたので種が尽きなかった。

明治期創立の大学図書館には明治・大正期の刊行物があり、歴史好きにはいい場所だが、今はコロナ禍で行かれない。しかし、近隣の図書館、国会図書館のデジタルコレクションが頼りになる。

種々の人名辞典、郷土史事典、昔の郷土史などの頁を繰って探すのだが、古い記録から新しい資料まで分量が多い。目的の史資料にたどり着くのにけっこう時間がかかる。また、あれば幸いだが、見つからないこともある。

それでも、根気さえあればできるから、調べたい人物、出来事がある人にお薦めしたい。何とんでも、紹介したいと思う人物に行き会えると嬉しい。

今は、地域を決めず興味の赴くままに記しているの、材料は山ほどある。

Q 有名人が出てないが、なぜ？

それは、あえて無名人を採りあげているから。

教科書に載るような有名人を、私なぞが書いても仕方ない。それより、掘り起こして紹介する方が嬉しい。

人に知られずとも世のため、人のためになった人物に出会うと励まされる。近代日本はそうした人々が築いたように思う。しかし、この先は、地道に頑張るだけでは難しそう。末が思い遣られる。

実は、「無名人列伝」と題したかったが、有名人の登場もあるから失礼かなと思った。子孫の方にもね。それで「無名人」はやめた。

何はともあれ、有名無名を問わず様々な分野で活躍した人物を掘り起こすのは嬉しい。

資料が手に入らずブログ更新がキツイこともあるが、日々のアクセス有難く、止められない。それに、コメントはもちろん勘違い指摘もありがたく励みになる。

「新島八重顕彰会」とのご縁は、会津人柴五郎が始まりであるが、歴史上の人物を一人好きになると、そこから歴史が身近になる。

有名無名を問わず歴史人を一人でも好きになって、歴史を身近に感じる人がふえるといい。